

教科シラバス(3年国語科)

教科名	国語	科目名	現代文B	学年	3年(理系習熟)	単位数	2
教科書と副教材			新編現代文 B、学習課題ノート、国語便覧、常用漢字オールクリア、ことのは国語辞典(書籍)				
1. 科目目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について 現代文:教科書、学習課題ノート、国語便覧、常用漢字オールクリア、国語辞典(書籍)</p> <p>(2) 予習の仕方について 前もって、次回授業の教材を読んでおきましょう。 新しい教材に入る前に語句の意味調べや漢字練習をあらかじめ行いましょう。 作文の授業に向けて、本やインターネットで様々な情報を調べておきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について<授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。> ア 各時の目標を意識して、毎時間集中して授業に臨みましょう。 イ 先生の発問に対して必ず自分で答えを考えましょう。 ウ 板書は手早く正確にノートに写すことを心がけましょう。 エ 表現課題をためないように一時間一時間集中して書きましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について <家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。> ア 授業で習った箇所の教科書を読み返しましょう。その際、重要事項等を便覧等で調べてノートに書き込み、後で授業内容が思い出せるノートにしておきましょう。 イ 教科書準拠の問題集に取り組み、内容理解を深めましょう。 ウ 宿題は、出された当日に必ず自分の力でやりましょう。 エ 漢字テストなど小テストは満点をとれるように勉強しましょう。 オ 副教材の問題集は、曜日を決めて計画的に行いましょう。</p> <p>(5) 質問の仕方について 分からないことは早めに担当の先生に尋ねましょう。 質問は、授業時間内でも放課後でも、いつでも可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。						
4. 学習サポート	<p>(1) 毎日の授業後、必ず宿題が出ますので必ず家でやりましょう。</p> <p>(2) 小テスト・提出物はすべて得点化されて成績に入ります。期日を守って提出しましょう。</p>						